

年度	平成16～18年度
----	-----------

**基本目的 5 市民が健康に生活できる**

**行動目標 5-2 市民が安心して医療を受けられる**

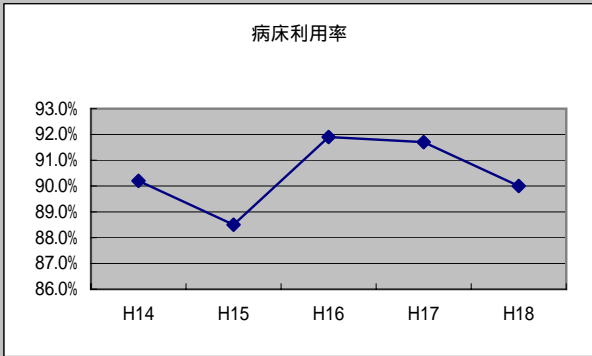
(所管課名 市立病院総務課)

任務	健全経営に基づく安心かつ高度な医療を提供する
----	------------------------

**任務の成果・活動指標の推移**

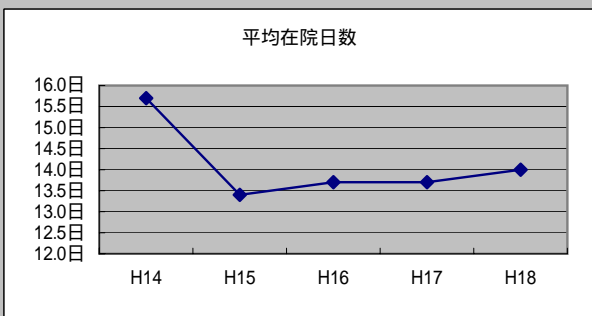
**病床利用率**

H14実績	90.2%
H15実績	88.5%
H16実績	91.9%
H17実績	91.7%
H18目標	90.0%



**平均在院日数**

H14実績	15.7日
H15実績	13.4日
H16実績	13.7日
H17実績	13.7日
H18目標	14.0日



**指標の説明**

高度医療を担う急性期病院では、患者の症状安定後、他の医療機関等へ転院することから、平均在院日数は短縮されるため、平均在院日数を指標とした。  
また、平均在院日数の短縮と同時に、病床利用率を高水準に維持することが、健全な病院事業運営を継続していくための要件となるため、病床利用率を指標とした。

**任務に対する評価**

**これまでの取組と成果、手段の妥当性**

**平成16～17年度**

公的医療機関として、より良質で、市民から信頼される患者本位の医療の実現に努めるとともに、地域の医療機関との連携強化を図ってきた結果、病床利用率・平均在院日数ともに高い水準を維持している。  
財政運営面では、平成15年度以来、3年連続して当年度純利益を計上することができる見通しである。  
病棟増築・既設改修事業については、事業内容の見直し等により1年遅延し、平成17年度に着手することとなった。  
電子カルテシステム(総合医療情報システム)整備事業については、計画どおり平成16年度に着手した。  
医療機器整備事業については、計画どおり最新医療機器の導入を行った。  
病院施設耐震対策事業については、本体分は完了しているが、設備分は病棟増築・施設改修事業の中で取り組むこととした。  
外部委託の拡大により、平成16年度に正職員(電話交換手)1人、平成17年度に嘱託(診療助手・電話交換手)2人・再任用(電話交換手)1人を削減した。

**平成18年度**

地域における責務を果たしつつ、より効率的な病院運営を進めるため、平成19年度を初年度とする中期経営計画を策定する。  
病棟増築・既設改修事業や電子カルテのシステム開発等を引き続き実施する。  
給食業務の外部委託拡大により、正職員5人を削減した。

**これからの課題、施策等展開の方向性**

急性期医療・高度医療を担う地域の中核病院として、健全経営を維持しつつ、より良質で、市民から信頼される患者本位の医療を提供していくため、療養環境の改善、最新医療機器の導入や医療IT化を推進するとともに、より効率的な病院運営を目指す。